令　和　４　年　度

養 父 市 決 算 審 査 意 見 書

公 営 企 業 会 計

養 父 市 監 査 委 員

写

養 監 第 40 号
令和５年８月８日

養父市長　広　瀬　　栄　様

養父市監査委員　津　崎　智　宏

養父市監査委員　田　路　之　雄

令和４年度公営企業会計決算審査意見書

地方公営企業法第 30 条第２項の規定により、審査に付された令和４年度養父市水道事業会計及び令和４年度養父市下水道事業会計決算の決算書並びに関係諸帳簿、証拠書類等を審査した結果、次のとおり意見を付する。

第１　審査の対象
（１）　令和４年度 養父市水道事業会計決算
（２）　令和４年度 養父市下水道事業会計決算

第２　審査の期間
令和５年６月 25 日から８月１日まで

第３　審査の方法
決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書が法令に準拠して調製されているか、計数は正確であるか、更に事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているか、かつ効率的に執行されたかに主眼をおき審査を実施した。
併せて事業経営内容の実情把握のため、担当部局へ提出資料を求めるとともにヒアリングによる数値分析を行い、事業の動向と推移を検証した。

第４　審査の結果
公営企業会計の決算審査の結果は、以下のとおりである。
審査に付された会計の決算諸表の記載様式及び記載事項は、法令に従って作成されており、その計数は正確であり、経営状況及び財政状況をおおむね適正に表示している。

目　　次

ページ

第１　養父市水道事業会計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

１　総括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

２　事業の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

３　決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

４　貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

５　損益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

６　繰出金の基準額と実繰出額　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

７　審査意見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

第２　養父市下水道事業会計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

１　総括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

２　事業の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

３　決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

４　貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

５　損益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

６　繰出金の基準額と実繰出額　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

７　審査意見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

第１　養父市水道事業会計

１　総括

令和４年度の水道事業決算額（消費税抜き）は、収益的収入が 678,853 千円に対し、収益的支出は 852,849 千円となり 173,996 千円の純損失となった。その結果、当年度未処分利益剰余金は、前年度繰越利益剰余金 296,193 千円に純損失を加えた 122,197 千円となっている。

２　事業の概要

令和４年度の事業概要は次表のとおりである。

区　　分		令和４年度	令和３年度	前年度比較
計画給水人口（人）		24,311	24,311	0
給水人口（人）		21,751	22,172	△421
給水戸数（戸）		10,572	10,641	△ 69
配水量	年間総配水量（㎥）	3,089,858	3,040,616	49,242
	１日最大配水量（㎥）	14,238	15,198	△960
	１日平均配水量（㎥）	8,465	8,330	135
有収水量	年間総有収水量（㎥）	2,457,993	2,470,059	△12,066
	１日平均有収水量（㎥）	6,734	6,767	△33
	有収率（%）	79.6	81.2	△1.6
供給単価（円/㎥）		202.63	202.60	0.03
給水原価（円/㎥）		288.51	319.00	△30.49

本年度は、給水人口 21,751 人、給水戸数 10,572 戸、年間総配水量 3,089,858 ㎥で、前年度と比べ給水人口で 421 人（1.9%）減少、給水戸数で 69 戸（0.6%）減少となったが、年間総配水量は 49,242 ㎥（1.6%）増加した。

供給単価は 202.63 円／㎥で対前年度比 0.03 円（0.0%）増加したが、給水原価は 288.51 円／㎥で対前年度比 30.49 円（9.6%）減少している。年間総有収水量は 2,457,993 ㎥で前年度に比べ 12,066 ㎥（0.5%）減少し、１日平均有収水量は前年度に比べ 33 ㎥減少し 6,734 ㎥であった。有収率は、前年度に比べて 1.6 ポイント減少し 79.6%となった。

3　決算状況　（税抜き）

（１）収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の状況は、次表のとおりである。

（単位：円、％）

区　　分	決　　算　　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
１款　水道事業収益	678,853,174	897,757,292	△218,904,118	△24.4
１項 営　業　収　益	503,292,884	505,620,867	△2,327,983	△0.5
２項 営 業 外 収 益	175,560,290	392,136,425	△216,576,135	△55.2
１款　水道事業費用	852,849,101	950,994,873	△98,145,772	△10.3
１項 営　業　費　用	793,096,672	886,589,993	△93,493,321	△10.5
２項 営 業 外 費 用	59,091,117	63,485,328	△4,394,211	△6.9
３項 特　別　損　失	661,312	919,552	△258,240	△28.1

（収　入）

令和４年度の水道事業収益は678,853千円となり、前年度に比べ218,904千円（24.4％）減少した。水道料金498,051千円など営業収益503,293千円と、一般会計補助金23,674千円など営業外収益175,560千円を収益した。

（支　出）

令和４年度の水道事業費用は852,849千円となり、前年度に比べ98,146千円（10.3％）減少した。職員人件費や施設の維持管理費のほか、減価償却費や企業債償還利息などを支出した。

（２）資本的収入及び支出（税抜き）

資本的収入の状況は、次表のとおりである。

（単位：円、％）

区　　分	決　　算　　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
１款　資本的収入	293,036,826	288,716,099	4,320,727	1.5
１項 企業債	172,900,000	156,600,000	16,300,000	10.4
２項 出資金	120,136,826	119,382,099	754,727	0.6
３項 補助金	0	12,734,000	△12,734,000	皆減

資本的収入は、企業債、出資金の合計293,037千円を収入し、対前年度比4,321千円（1.5％）増加した。

増加の主な要因は、企業債が16,300千円増額したこと等によるものである。

資本的支出の状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区　　分	決　　算　　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
１款　資本的支出	486,316,245	478,382,143	7,934,102	1.7
１項 建設改良費	160,502,726	162,722,729	△2,220,003	△1.4
２項 企業債償還金	325,813,519	315,659,414	10,154,105	3.2

資本的支出は、建設改良費と企業債償還金の合計 486,316 千円を支出し、対前年比 7,934 千円の増加となった。

増加の主な要因は、企業債償還金が 10,154 千円増加したことによるものである。

４　貸借対照表　（税抜き）

比較貸借対照表は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区　　分	決　　算　　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
固定資産	8,912,260,245	9,321,818,417	△409,558,172	△4.4
有形固定資産	8,907,691,945	9,317,250,117	△409,558,172	△4.4
無形固定資産	4,568,300	4,568,300	0	0.0
流動資産	1,705,102,285	1,701,197,718	3,904,567	0.2
現金預金	1,609,699,260	1,607,827,366	1,871,894	0.1
未収金	90,175,806	89,008,838	1,166,968	1.3
貯蔵品	5,227,219	4,361,514	865,705	19.8
資産合計	10,617,362,530	11,023,016,135	△405,653,605	△3.7
固定負債	3,648,044,141	3,795,587,447	△147,543,306	△3.9
企業債	3,648,044,141	3,795,587,447	△147,543,306	△3.9
流動負債	362,955,707	424,388,386	△61,432,679	△14.5
企業債	320,443,306	325,813,519	△5,370,213	△1.6
未払金	38,135,726	94,031,563	△55,895,837	△59.4
預り金	3,360	17,980	△14,620	△81.3
引当金	4,373,315	4,525,324	△152,009	△3.4
繰延収益	2,025,965,581	2,168,784,100	△142,818,519	△6.6
長期前受金	3,816,590,689	3,837,556,977	△20,966,288	△0.5
収益化累計額	△1,790,625,108	△1,668,772,877	△121,852,231	△7.3
負債合計	6,036,965,429	6,388,759,933	△351,794,504	△5.5
資本金	4,227,063,554	4,106,926,728	120,136,826	2.9
自己資本金	4,227,063,554	4,106,926,728	120,136,826	2.9
剰余金	353,333,547	527,329,474	△173,995,927	△33.0
資本剰余金	11,306,554	11,306,554	0	0.0
利益剰余金	342,026,993	516,022,920	△173,995,927	△33.7

資 本 合 計	4,580,397,101	4,634,256,202	△53,859,101	△1.2
負債･資本合計	10,617,362,530	11,023,016,135	△405,653,605	△3.7

5　損益計算書　（税抜き）

比較損益計算書は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区　　分	決　算　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
営業収益	503,292,884	505,620,867	△2,327,983	△0.5
給　水　収　益	498,051,050	500,444,758	△2,393,708	△0.5
その他の営業収益	5,241,834	5,176,109	65,725	1.3
営業費用	793,096,672	886,589,993	△93,493,321	△10.5
原水及び浄水費	118,136,328	111,681,735	6,454,593	5.8
配水及び給水費	59,432,349	57,755,913	1,676,436	2.9
総　係　費	45,244,637	46,110,790	△866,153	△1.9
減価償却費	566,777,974	597,768,536	△30,990,562	△5.2
資産減耗費	3,282,924	72,921,829	△69,638,905	△95.5
その他営業費用	222,460	351,190	△128,730	△36.7
営業損失	289,803,788	380,969,126	△91,165,338	△23.9
営業外収益	175,560,290	392,136,425	△216,576,135	△55.2
受　取　利　息	2,323	74,785	△72,462	△96.9
加　入　金	4,236,360	2,290,907	1,945,453	84.9
補　助　金	23,674,421	222,583,362	△198,908,941	△89.4
長期前受金戻入	142,818,519	161,786,025	△18,967,506	△11.7
雑　収　益	4,828,667	5,401,346	△572,679	△10.6
営業外費用	59,091,117	63,485,328	△4,394,211	△6.9
支　払　利　息	57,909,905	63,467,525	△5,557,620	△8.8
雑　支　出	1,181,212	17,803	1,163,409	6,534.9
経常利益	△173,334,615	△52,318,209	△121,016,406	△231.3
特別損失	661,312	919,552	△258,240	△28.1
過年度損益修正損	661,312	919,552	△258,240	△28.1
当年度純利益	△173,995,927	△53,237,581	△120,758,346	△226.8
前年度繰越利益剰余金	296,193,406	349,430,987	△53,237,581	△15.2
当年度未処分利益剰余金	122,197,479	296,193,406	△173,995,927	△58.7

当年度純利益は△173,996 千円で、前年度繰越利益剰余金 296,193 千円に純利益を加えた当年度未処分利益剰余金は、122,197 千円となっている。

６　繰出金の基準額と実繰出額

（単位：円）

年　　度	繰出基準額	実繰出額	差　　額
令和４年度	147,620,247	147,620,247	0
令和３年度	345,774,461	345,774,461	0
比　較	△198,154,214	△198,154,214	0

７　審査意見

（１）　事業の状況について

令和４年度末の給水人口は 21,751 人で対前年度比 421 人減（△1.9%）、給水戸数は 10,572 戸で対前年度比 69 戸減とそれぞれ減少している。

年間総配水量は 3,089,858 ㎥で対前年度比 49,242 ㎥(1.6%)の増加、年間有収水量は 2,457,993 ㎥で対前年度比 12,066 ㎥（0.5%）の減少となり、有収率は 79.6%で前年度 81.2%と比較し 1.6 ポイント減少した。

また、給水人口、給水戸数とも昨年度に比べ減少しているが、これは、少子化による自然減と転出による社会減が大きな要因であり、今後も減少傾向が続くと考えられる。

建設改良事業の状況は、上網場系小佐系統合整備事業小佐送水施設整備工事、舞狂橋橋梁補修・水管橋更新工事、市道小路頃鹿倉口線他道路改良工事（その３）・水道管添架工事、上網場浄水場膜モジュール更新工事などを施工した。

（２）損益の状況について

令和４年度の収益的収入は、総額 678,853 千円で前年度 897,757 千円と比較して 218,904 千円の減収となった。営業収益は、503,293 千円で前年度 505,621 千円と比較して 2,328 千円の減収となった。営業外収益は 175,560 千円で、前年度 392,136 千円と比較して 216,576 千円の減収となった。この要因は、令和２年度に実施した新型コロナウイルス感染症に伴う減免の影響で高料金対策分の補助金の基準額が皆減となったことが起因している。

収益的支出は、総額852,849千円で前年度950,995千円と比較して98,146千円の減額となった。この結果、本年度は 173,996 千円の純損失が生じ、当年度末処分利益剰余金は、前年度繰越利益剰余金 296,193 千円から純損失を差し引いた 122,197 千円となった。

令和３年度の決算審査において、上水道料金にかかる未収金の督促強化や収納チャンネルの拡充等による収納状況の改善について指摘しているが、人手不足等を理由に実施・検討できておらず、その結果、不能欠損処理を実施しても未収額は、前年度と比較して水道料金で 1,240 千円増加している。

人口減少等により事業経営は厳しい状況にあり、利用者負担の公平性の確保のみならず、収益確保のためにも積極的な回収措置を講じ、未収金の削減に努められたい。

第２　養父市下水道事業会計

１　総括

令和４年度の下水道事業決算額（消費税抜き）は、事業収益 1,097,138 千円に対し、事業費用は 1,108,314 千円となった。その結果、11,176 千円の純損失が生じ、当年度未処理欠損金は 150,723 千円となった。

２　事業の概要

令和４年度の事業概要は次表のとおりである。

区　　分	令和４年度	令和３年度	前年度比較
年度末行政区域内人口（人）	20,804	21,187	△383
年度末処理区域内人口（人）	20,804	21,187	△383
年度末接続人口（人）	20,199	20,527	△328
年度末接続世帯数（世帯）	8,405	8,409	△4
年度末接続率（%）	97.1	96.9	0.2
年間総処理水量（㎥）	2,210,737	2,285,816	△75,079
年間有収水量（㎥）	2,165,138	2,195,385	△30,247
有　　収　　率（%）	97.9	96.0	1.9

当年度末の接続人口は 20,199 人、接続率は 97.1%であった。当年度の年間総処理水量は 2,210,737 ㎥で、これに対する年間有収水量は 2,165,138 ㎥となり、有収率は 97.9%となった。

３　決算状況　（税抜き）

（１）収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区　　分	決　　算　　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
１款　下水道事業収益	1,097,138,204	1,166,141,446	△69,003,242	△5.9
１項 営 業 収 益	441,385,728	447,189,909	△5,804,181	△1.3
２項 営 業 外 収 益	655,711,043	718,951,537	△63,240,494	△8.8
３項 特 別 利 益	41,433	0	41,433	皆増
１款　下水道事業費用	1,108,314,496	1,141,576,463	△33,261,967	△2.9
１項 営 業 費 用	996,808,066	1,012,428,038	△15,619,972	△1.5
２項 営 業 外 費 用	109,802,822	127,119,637	△17,316,815	△13.6
３項 特 別 損 失	1,703,608	2,028,788	△325,180	△16.0

（収　入）

令和４年度の下水道事業収益は 1,097,138 千円で、下水道使用料 441,202 千円など営業収益 441,386 千円と、一般会計からの補助金 354,101 千円など営業外収益 655,711 千円を

収入した。また、本年度は特別利益として、固定資産売却収益 41 千円を収入した。

（支　出）

令和４年度の下水道事業費用は 1,108,314 千円で、職員人件費や施設の維持管理費のほか、減価償却費や企業債償還利息などを支出した。

（２）資本的収入及び支出（税抜き）

資本的収入の状況は、次表のとおりである。

（単位：円、％）

区　　分	決　　算　　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
１款　資本的収入	744,419,535	879,468,894	△135,049,359	△15.4
１項 企　　業　　債	530,100,000	588,400,000	△58,300,000	△9.9
２項 出　　資　　金	125,522,615	122,954,144	2,568,471	2.1
３項 補　　助　　金	77,089,300	168,114,750	△91,025,450	△54.1
４項 負　　担　　金	11,707,620	0	11,707,620	皆増

資本的収入は、建設改良費等の財源に充てるための企業債、一般会計からの出資金、国県からの補助金及び工事負担金の合計 744,420 千円を収入し、対前年度比 135,049 千円（15.4％）減少した。

減少の主な要因は、国県補助金が 91,025 千円減少したこと等によるものである。

資本的支出の状況は、次表のとおりである。

（単位：円、％）

区　　分	決　　算　　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
１款　資本的支出	1,061,006,471	1,214,483,728	△153,477,257	△12.6
１項 建設改良費	166,032,188	308,077,154	△142,044,966	△46.1
２項 企業債償還金	894,974,283	906,406,574	△11,432,291	△1.3

資本的支出は、建設改良費及び企業債の償還に合計 1,061,006 千円を支出し、対前年比 153,477 千円（12.6％）の減少となった。

減少の主な要因は、建設改良費の減額等によるものである。

4　貸借対照表　（税抜き）

比較貸借対照表は、次表のとおりである。

（単位：円、％）

区　　分	決　算　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
固定資産	20,097,964,113	20,633,703,955	△535,739,842	△2.6
有形固定資産	20,097,388,113	20,633,127,955	△535,739,842	△2.6
無形固定資産	576,000	576,000	0	0.0
流動資産	480,407,854	491,283,634	△10,875,780	△2.2
現金預金	377,963,853	368,219,766	9,744,087	2.6
未収金	102,444,001	123,063,868	△20,619,867	△16.8
資産合計	20,578,371,967	21,124,987,589	△546,615,622	△2.6
固定負債	5,353,329,800	5,692,437,446	△339,107,646	△6.0
企業債	5,353,329,800	5,692,437,446	△339,107,646	△6.0
流動負債	1,003,132,604	1,121,758,009	△118,625,405	△10.6
企業債	869,207,646	894,974,283	△25,766,637	△2.9
未払金	129,015,776	221,888,627	△92,872,851	△41.9
預り金	1,840	17,820	△15,980	△89.7
引当金	4,907,342	4,877,279	30,063	0.6
繰延収益	7,834,958,718	8,038,187,612	△203,228,894	△2.5
長期前受金	10,028,239,886	9,947,515,410	80,724,476	0.8
収益化累計額	△2,193,281,168	△1,909,327,798	△283,953,370	△14.9
負債合計	14,191,421,122	14,852,383,067	△660,961,945	△4.5
資本金	6,117,198,864	5,991,676,249	125,522,615	2.1
固有資本金	4,948,955,464	4,948,955,464	0	0.0
繰入資本金	1,168,243,400	1,042,720,785	125,522,615	12.0
剰余金	269,751,981	280,928,273	△11,176,292	△4.0
資本剰余金	420,475,357	420,475,357	0	0.0
利益剰余金	△150,723,376	△139,547,084	△11,176,292	△8.0
資本合計	6,386,950,845	6,272,604,522	114,346,323	1.8
負債･資本合計	20,578,371,967	21,124,987,589	△546,615,622	△2.6

5　損益計算書　（税抜き）

比較損益計算書は、次表のとおりである。

（単位：円、％）

区　　分	決　算　額		対前年度	
	令和４年度	令和３年度	増減額	増減率
営業収益	441,385,728	447,189,909	△5,804,181	△1.3
使　用　料	441,202,001	447,155,819	△5,953,818	△1.3
その他の営業収益	183,727	34,090	149,637	438.9
営業費用	996,808,066	1,012,428,038	△15,619,972	△1.5
管　渠　費	42,679,735	44,801,453	△2,121,718	△4.7
処　理　場　費	221,303,291	202,555,515	18,747,776	9.3
総　係　費	31,053,010	34,032,372	△2,979,362	△8.8
減　価　償　却　費	701,772,030	721,597,355	△19,825,325	△2.7
資　産　減　耗　費	0	9,441,343	△9,441,343	皆減
営業損益	△555,422,338	△565,238,129	9,815,801	1.7
営業外収益	655,711,043	718,951,537	△63,240,494	△8.8
負　担　金	8,863,615	4,090,896	4,772,719	116.7
補　助　金	362,850,946	420,361,569	△57,510,623	△13.7
長期前受金戻入	283,953,370	293,530,057	△9,576,687	△3.3
雑　収　益	43,112	969,015	△925,903	△95.6
営業外費用	109,802,822	127,119,637	△17,316,815	△13.6
支　払　利　息	109,005,991	126,670,477	△17,664,486	△13.9
雑　支　出	796,831	449,160	347,671	77.4
経常利益	△9,514,117	26,593,771	△36,107,888	△135.8
特別利益	41,433	0	41,433	皆増
固定資産売却益	41,433	0	41,433	皆増
特別損失	1,703,608	2,028,788	△325,180	△16.0
過年度損益修正損	1,703,608	2,028,788	△325,180	△16.0
当年度純利益	△11,176,292	24,564,983	△35,741,275	△145.5
前年度繰越欠損金	139,547,084	164,112,067	△24,564,983	△15.0
当年度未処理欠損金	150,723,376	139,547,084	11,176,292	8.0

当年度純損失は 11,176 千円で、前年度繰越欠損金 139,547 千円を加算した当年度未処理欠損金は 150,723 千円となっている。

６　繰出金の基準額と実繰出額

（単位：円）

年　　度	繰出基準額	実繰出額	差　　額
令和４年度	479,623,561	479,623,561	0
令和３年度	538,404,213	538,404,213	0
比　較	△58,780,652	△58,780,652	0

７　審査意見

（１）　事業の状況について

令和４度末の接続人口は 20,199 人、接続率は 97.1%で対前年度比 0.2 ポイント増加した。

年間総処理水量は 2,210,737 ㎥でこれに対する年間有収水量は 2,165,138 ㎥となり、有収率は 97.9％で前年度対比は 1.9 ポイント増加した。

建設改良では、長寿命化対策事業として、養父３地区機能強化対策工事、養父４地区機能強化対策工事、統廃合事業として、西谷分区下水道管布設工事（２工区)、奥米地分区（２工区）下水道管布設工事、その他の工事として九鹿区下水道管布設工事、高柳区下水道管布設工事、門野バイパス関連水道橋（汚水）布設工事、汚泥投入口設置工事を実施した。

（２）損益の状況について

令和４度の収益的収入は、総額 1,097,138 千円で前年度 1,166,141 千円と比較して 69,003 千円の減収となった。営業収益は 441,386 千円で 、前年度 447,190 千円と比較して 5,804 千円の減収となった。

営業外収益は、一般会計補助金や長期前受金の減額等により 655,711 千円で前年度 718,952 千円と比較して 63,240 千円の減収となった。

収益的支出は、減価償却費の減額等により総額 1,108,314 千円で前年度 1,141,576 千円と比較して 33,262 千円の減額となった。

この結果、本年度は 11,176 千円の純損失が生じ、当年度末処理欠損金は前年度繰越欠損金 139,547 千円に純損失を加えた 150,723 千円となった。

令和３年度の決算審査において、下水道料金にかかる未収金の督促強化や収納チャンネルの拡充等による収納状況の改善について指摘しているが、不能欠損処理を実施しても未収額は前年度と比較して 1,304 千円増加している。

下水道事業においても水道事業と同様、人口減少等により事業経営は厳しい状況にあり、利用者負担の公平性の確保のみならず、収益確保のためにも積極的な回収措置を講じ、未収金の削減に努められたい。